

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和5年度第3回大野北公民館運営協議会		
事務局 (担当課)		大野北公民館 電話042-755-6601		
開催日時		令和6年3月15日(金) 午後7時00分～8時45分		
開催場所		大野北公民館 大会議室		
出席者	委員	22人(別紙のとおり)		
	その他	2人(生涯学習課 鈴木総括副主幹、白戸主任)		
	事務局	4人(峰尾館長代理、古賀主事、織田主事、角田主事)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 報 告 淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて 2 議 題 (1) 公民館の事業実施状況について (2) 青少年指導委員の任期満了に伴う候補者の推薦結果について (3) 令和5年度公民館運営協議会補助金の決算見込について (4) 令和6年度大野北公民館事業計画について (5) 大野北公民館振興計画の改定について (6) 大野北公民館創立70周年記念誌の収支決算について (7) その他		

## 協 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言、□はその他の発言)

### 1 報告

生涯学習課から、淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて説明があった。

○複合施設のコンセプトにある「目的がある人もない人も、誰もが気軽に利用できる公園のような施設」とは、どういう意味か。

□リラックスして公園のように利用できる施設をという意味である。

○誰でも自由に使えるという解釈でいいのか。寝転がったり本を読んだり飲食したり、どちらかという「公園と一体となった」という言い方の方がよいと思うが。

□解釈のとおりであり、コンセプトを補足する意味で資料に説明を掲載した。

○公園のように、現在は使えていないということ。飲食は別として、みんなが楽しめる施設で、30年後を見据えて考えている。

○ふらっと入れる施設をイメージしている。適切でない利用の仕方については、運用でどうにかなる。「次世代ふちのベニユース」に、駅前有効活用についての業者からの意見が掲載されているが、跡地は移転のあとにできるので、複合施設が先で、跡地活用についてはその後でよいのではないか。

□市民の意見、事業者の意見など、様々な意見をうかがいながら進めていくものと考えている。

○公民館の話があまりなかった。現在の活動が継続できると考えてよろしいか。

□地域が主体となった運営を大切にしつつ、貸室については再編していきたい。

○住民が利用する時に、地域の団体が優先されるようにしてもらいたい。誰でも登録すれば使えるとなると、大野北地区の住民がなかなか使えなくなるのではないか。大野北地区は、館区内人口6万人に対して1館しかないため、ただでさえ、競争率が高い。

□不安の声をうかがっており、拠点館の登録をした団体が優先的に予約を取れる仕組みについては、残していけるよう検討したい。

### 2 議題

#### (1) 公民館の事業実施状況について

令和5年9月から令和6年2月までの14事業について、説明を行った。

○父子参加型講座の事業評価シートが添付されていないが、まだできていないということか。

●そのとおり。

○布えほんひろばは、金曜と土曜で参加人数がかなり違うが、土日で開催した方がよいのではないか。

●図書館との連携事業であり、布えほんのサークル2団体と図書館の間で日程を決めている。平日しか来れない人もいるため、以前からこの日程で実施している。

○歴史講座は人気があったのに、事業評価シートの1次評価が低い理由は何か。

● 1次評価は実行委員会の評価であるが、1次と2次の間で差異が生じているのは課題である。

○父子参加型講座の参加者が少ないようだが、満足度はどうだったのか。

●アンケートフォームでは2件しか回答がないが、2件とも満足という回答をいただいている。

○子どもまつりのスタッフが足りない状況であり、参加者は今後も増えると考えられるが、何か対応策はあるか。

●子ども実行委員が足りない状況。意欲が強すぎて、キャパシティーを超えたものをやっつけてしまって手が足りないという状況もあった。子ども実行委員をより多く募集するということに加え、大人がどう指導していくか、検討の必要があると考えている。

○公民館の事業は、どのように進めているのか。これだけたくさんの事業をやるとなると職員の手が足りないのではないか。

●実行委員会形式で委員を募集したり、青少年指導委員、スポーツ推進委員の皆さんの協力で事業が実施できている。

(2) 青少年指導委員の任期満了に伴う候補者の推薦結果について

7自治会から7名の候補者を選考し、市に推薦したことについて説明を行った。委員の定員数12名に達していないため、引き続き候補者の選出をお願いすることを説明した。

また、1名追加で自治会から推薦があったため、市への推薦手続をとることを説明した。

(3) 令和5年度公民館運営協議会補助金の決算見込について

事務局から説明を行って了承された。

○事務費が結構かかっているが、どの事業に充てられるのかがわからない。

●父子参加型講座は市の予算が講師謝礼しかないため、消耗品代を運営協議会から支出している。

○委託料はどのくらいの金額なのか。参考までに資料に付けてもらいたい。

(4) 令和6年度大野北公民館事業計画について

学習・文化事業、体育事業、青少年事業等について説明を行って了承された。

○自治会親善のスポーツ大会と親善ゲートボール大会とでは何が異なるのか。

○自治会に入っていないなくても、チームがあってそれで参加できる。

○報告の記載のなかに、運営スタッフ（実行委員何人とか）の記載があるとよい。子どもまつりは人手が足りないという話だが、公民館まつりは、でいらスタッフを募集しており、でいらスタッフ説明会も開催している。子どもまつりも運営スタッフを広く募集してはどうか。

○青少年事業に中学生を対象にしたものがない。他の公民館だと夏休みなどに宿題をする場所を1部屋開放したりしている。

○見学に行った矢川プラスでは中学生だけを対象にした催しがある。公民館でも中学生だけを対象にするものがあったとしてもよいのでは。中学の校長先生からもどういう事業だったらよいか意見を聞くのもよい。

○社会福祉協議会では、夏休みに中学生を対象にしたボランティアスクールを開催している。中学生は忙しい中でも企画を立てて募集をすれば来ないわけではない。

○子どもまつりのクルーを中学生も対象として募集をしているが、忙しいようで来てもらえない。

#### (5) 大野北公民館振興計画の改定について

大野北公民館振興計画検討委員会の進捗状況について報告し、情報共有を行った。

○基本理念の改定案について、皆さんのご意見を伺いたい。

○上の案のほうが自然でよい。

○下の方が読んだときのリズムがよい。MY公民館、自分事というのがよい。

○下の方がよい。子どもに対しても、自分事という指導をしている。1人1人が考えることがいい。

○MYの両方大文字だと何かの略に感じるが、yを小文字にすると、私のという雰囲気になる。

○公民館は子どもから高齢者まで利用する。高齢者にはわかりにくい下の案より、上の方がよい。

○MYだけアルファベットが入るのは違和感がある。だったら「私の」という方がよい。

#### (6) 大野北公民館創立70周年記念誌の収支決算について

事務局から決算について報告があり、了承された。

#### (7) その他

○まちづくり会議には館長が出席していると思うが、公民館の利用者側で出られると良いと考える。どこに言えばよいのか。

●まちづくりセンターになる。

○鹿沼公園桜まつりの開催について、共和中学校体育館で実施するSC相模原の選手を招いてのイベントについて情報提供する。

以 上

## 大野北公民館運営協議会委員出欠席名簿

氏 名	選 出 母 体	備 考	出欠席
小川 紳夫	公民館長	会 長	出席
彦坂 克則	共和小学校長		出席
小林 知昭	共和中学校長		出席
山口 信郎	大野北地区自治会連合会	副会長	出席
林 知治	大野北地区自治会連合会		出席
岡本 誠	大野北地区自治会連合会		出席
森光 雄一郎	大野北青少年健全育成協議会		出席
宮津 敏信	大野北地区老人クラブ連合会		出席
佐藤 幸一	にこにこ星ふちのべ商店会		出席
小出 茂	PTA 大野北ブロック (大野北中学校 PTA)		出席
柿沼 秀康	大野北地区社会福祉協議会		出席
望月 規男	地区民生委員児童委員協議会		出席
緒方 祐美	大野北公民館利用サークル		出席
今 美和子	大野北公民館利用サークル		出席
金田 輝義	大野北公民館利用サークル		出席
坂口 芳郎	社会教育有識者		出席
河本 耕生	社会教育有識者		欠席
猪口 敦子	公募		出席
柴田 孝子	公募		出席
清水 博登	公募		出席
中島 順子	青少年指導委員大野北地区協議会		出席
長田 文成	スポーツ推進委員大野北地区協議会		出席
市橋 まゆみ	広報部会		出席